

## 「日々の学習をキャリア教育の視点から～進路選択につながる力を育む～」

今回は、“職業や働くことを知る”ための学習についてお話ししたいと思います。

学校での学習で直接的に職業を体験するのは、事業所体験や産業現場等における実習、マイチャレンジ、インターンシップなどです。生徒が直接働く人と関わりながら実践的な知識や技能に触れることを通して、働くことの大切さが分かり、働くうえで必要となる基本的な事柄を理解するとともに、将来の進路について考えることができるように指導しています。これらの学習は、前回の号外で触れた係活動や家庭でのお手伝いにつながっており、働くことの意義や役割を理解したり多様性を理解したりする力を高めていきます。また、福祉サービス等を活用して経験を拡大することは、体験先を選ぶことにもつながってきます。

この他に、校外学習などで出かけた先で接した大人、ワークショップなどの体験、教科書に出てきた職業に関する記述などから、職業を知ることがあります。どのような仕事なのかを教師と確認したり、調べたりするようにしています。このことは、課題対応能力の向上につながります。ご家族でお出かけの際には、働いている人についてもお子さんに説明していただくと、より職業についての興味関心が広がり、理解が深まっていくことと思います。

ところで、お子さんはご家族など身近な人の職業が何であるかを知っているでしょうか？身近な人の職業は何という名前で、どのような内容の仕事をして、生活のどんなどころにその仕事が生かされているのか。身近な人の仕事について知ることは、職業や働くことへの興味関心を広げるだけでなく、働くことの意義や役割の理解、働く人の思いに気付くことにつながります。また、将来の夢をもち、将来設計や選択をする力を身に付けることにもつながっていますので、お時間があるときに雑談の中で分かりやすく触れていただくとよいと思います。

今年度の進路だよりの「日々の学習をキャリア教育の視点から」では、進路選択につながる力を育むための学習や経験についてお話ししてきました。キャリア発達を促す能力や態度は学校での学習だけで育つものではありません。家庭生活、学校生活など日常生活全般での経験が密接に関連して、キャリア発達を促していくこととなります。これからも、お子さんの経験を広げ、理解を深められるように、ご家庭と協力していきたいと考えています。進路に関するご相談は些細なことでも構いません。福祉サービス等の利用を含め随時受け付けておりますので、遠慮なくご相談ください。

